

みんなで
稲刈り
したよ～
ゆがわ

議会だより

勝常小学校

笈川小学校

湯川中学校

News from

Yugawa-village

assembly

主な内容

表紙：小中学校稲刈り風景

- ◆ 9月定例会提出議案審議 P 2～5
- ◆ 一般質問（8議員が村政を問う）..... P 6～13
- ◆ 議会の主な動き・編集後記 P 14

借入金残高は 30億6,877万5千円

9月 定例会

【令和3年度各会計の決算状況】

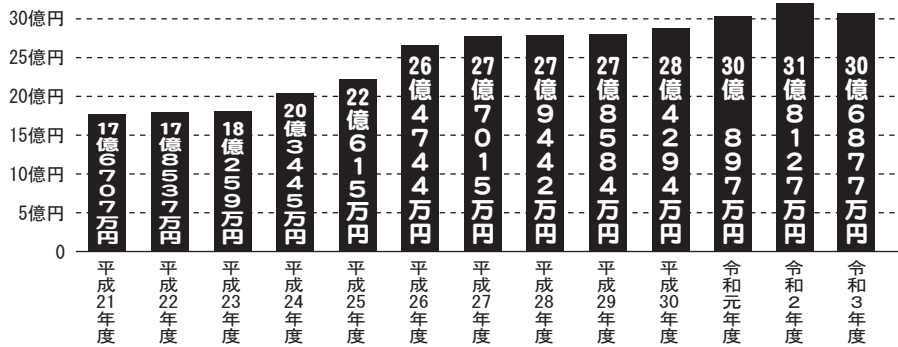
※決算書における数値のため、P3普通会計の数値と異なります。
(単位：千円、%)

	歳入	歳出	議決の内容
一般会計 (対前年度比)	3,015,911 (85.4)	2,861,754 (84.1)	全員賛成により認定
特別会計 (対前年度比)	1,066,730 (105.4)	1,020,161 (102.6)	
国民健康保険 (対前年度比)	359,965 (112.7)	347,288 (111.2)	全員賛成により認定
特定環境保全公共下水道事業 (対前年度比)	134,681 (90.7)	128,629 (88.3)	全員賛成により認定
農業集落排水事業 (対前年度比)	61,948 (114.5)	59,084 (112.5)	全員賛成により認定
介護保険 (対前年度比)	472,110 (105.2)	447,502 (101.1)	全員賛成により認定
後期高齢者医療 (対前年度比)	37,871 (92.0)	37,551 (91.9)	全員賛成により認定
墓地事業 (対前年度比)	155 (96.9)	107 (108.1)	全員賛成により認定
全会計合計	4,082,641 (89.8)	3,881,915 (88.3)	

9月定例会が9月8日から15日までの8日間の会期で開催されました。村長から提案された令和3年度各会計の決算認定をはじめ、補正予算や条例改正、人事案件など、20件が審議され全議案認定・可決・同意されました。また、12日・13日の2日間行われた一般質問には、8名が登壇し三澤村政について問いました。

ここが知りたい！

村債残高一覧（一般会計）



村長へ監査意見書を提出
(小野監査委員) (東条代表監査委員) (三澤村長)

監査意見の提出

自主財源の確保と

健全財政の運営を求む！

一般会計及び各特別会計決算は計数等に誤りなく会計経理は概ね適正に執行されていた。
歳入における村税全体の徴収率は99.6%で昨年度を上回り、引き続き徴収強化と不能欠損処分額が少なくなるよう対応されたい。
歳出は村内公共施設の老朽化が進み各会計において修繕費の増加が見られる。個別施設計画等に則し、適切に管理運営することを望むものであり、将来に向けた安定した行政サービス継続を求む。

決算 審議

令和3年度も財政指標は「健全」

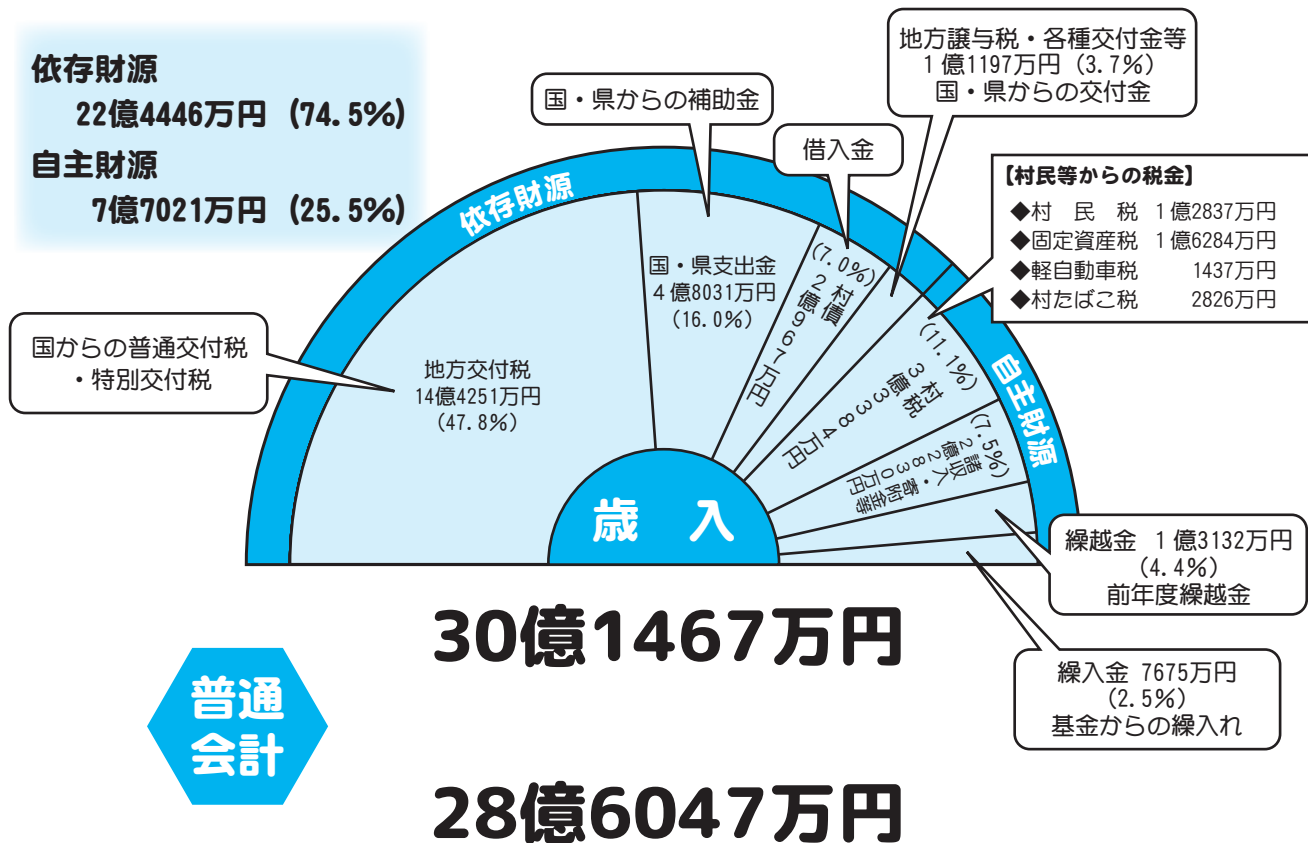
(※決算統計における普通会計の数値)

依存財源

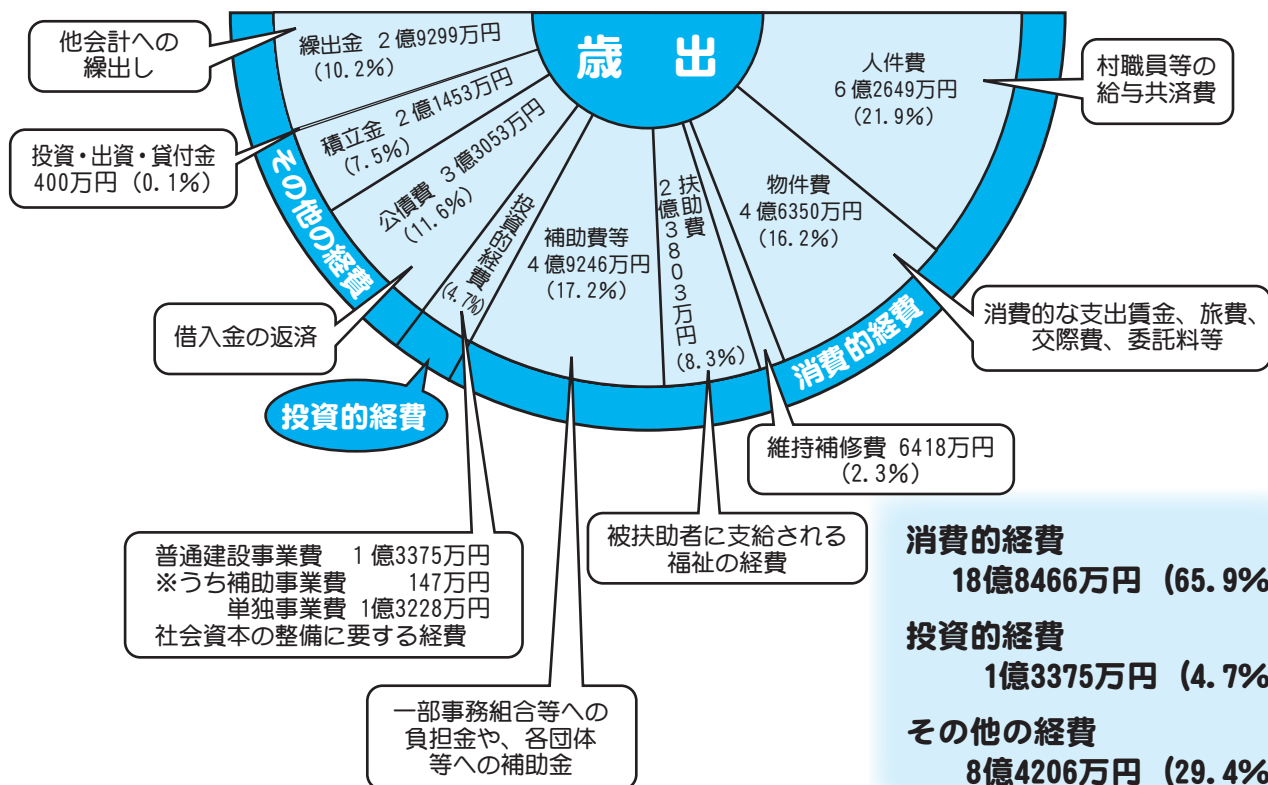
22億4446万円 (74.5%)

自主財源

7億7021万円 (25.5%)



28億6047万円



第553回 7月臨時会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

議案番号	件名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			廣川文夫	伊藤幸喜	小沢甲市	片桐英子	三澤榮三	高倉好博	小野澄雄	篠竹正弘	斎藤賢一
27	令和4年度湯川村一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
28	令和4年度湯川村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

第554回 9月定例会における議員の賛否の公表

議案番号	件名	賛否	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			廣川文夫	伊藤幸喜	小沢甲市	片桐英子	三澤榮三	高倉好博	小野澄雄	篠竹正弘	斎藤賢一
29	令和3年度湯川村一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
30	令和3年度湯川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
31	令和3年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
32	令和3年度湯川村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
33	令和3年度湯川村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
34	令和3年度湯川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
35	令和3年度湯川村墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
36	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
37	湯川村税条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
38	字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
39	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
40	令和4年度湯川村一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
41	令和4年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
42	令和4年度湯川村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
43	令和4年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
44	令和4年度湯川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
45	令和4年度湯川村墓地事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
46	湯川村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	小野 宏美 氏（北田）								
47	湯川村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	浅沼 勝 氏（笈川）								
議員提出4号	令和4年度湯川村議会行政調査の実施について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

第554回定例会における主な議案の内容

<議案第39号 財産の取得について>

○小型動力消防ポンプ付積載車 1台 12,628千円（浜崎）

<議案第40号 令和4年度湯川村一般会計補正予算（第3号）の主な内容>

事業名	補正予算額 (千円)	内 容
湯川村農家応援事業委託料	21,849	今年度のふるさと応援寄附金額が現在1億円を超え、返礼品の米発送経費や事務経費等を増額しました。
新型コロナウイルスワクチン接種委託料	11,522	新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチン接種に係る委託費として増額しました。
湯川産米PR事業助成金	4,680	湯川村の非農家等へ5kgの「お米券」へ交付する事業です。
新規就農者育成総合対策事業補助金	7,500	次世代を担う農業者の育成・確保のため、国、県と連携し、就農後の経営発展のため補助するものです。

議会被災地視察を実施しました！

去る7月26日・27日福島第1原子力発電所、東日本大震災・原子力災害伝承館等を視察いたしました。

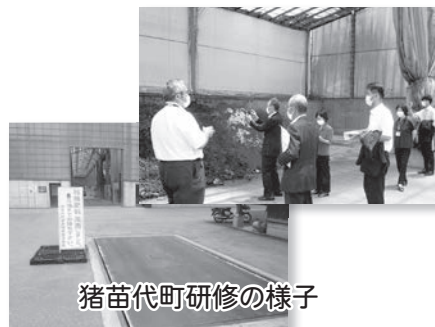
私たち議員は東日本大震災発生から11年、浜通り地方の現状を知り、復興を考えるきっかけにしたいと考え、発電所構内、廃炉が立ち並ぶ数十m近くで当時の状況や作業の進捗状況、汚染水対応方法の説明を受けました。また、伝承館見学や国道6号線沿いの復興の現状を確認してまいりました。



廃炉を背にした様子

改めて当時の状況が分かり、二度とこのような事故が起きないようお願い、復興が一日でも早く進むようお願いしています。

総務文教常任委員会視察研修を実施しました！



猪苗代町研修の様子

委員長 三澤 榮三

去る7月7日猪苗代町に於いて、ごみ減量と生ごみのたい肥化の取り組みについて、議員5名村職員1名で視察研修いたしました。風光明媚な農業と観光の町、猪苗代町はごみ減量の取り組みにおいて、町民と一体となり事業を進め、町民への出前講座や子ども達への意識づくりでポスターコンクール、古着回収等を実施されていました。

堆肥製造施設では生ごみを牛ふんともみ殻に混ぜて肥料を製造され、「未来の夢たい肥」として販売し、地域内の有機物資源を有効利用して、環境にやさしい町づくりとごみ減量を推進されていました。本村の令和7年度までのごみの2割削減を目指す方向が見えた研修でした。

経済常任委員会昭和村の移住者と意見交換を実施しました！

委員長 小沢 甲 市

去る7月11日昭和村旧喰丸小学校に於いて、令和2年に昭和村に移住された「戸頃さん」と議員4名村職員1名で意見交換を行いました。

戸頃さんは昭和村を車で通過したことはあって、「いい所だな」とは感じていたが、住みたいとまでは思っていなかったそうです。しかし、来てみると土地柄はいいし、古民家の状態も良好で移住されたそうです。移住されてからは米作りと茨城での旅行会社を営みながら生活されています。戸頃さんは、ネット環境があれば不便は感じない、

コロナ禍で生活が変化したと言っておられました。また、湯川米のブランド化について何うと、ストーリー性と付加価値をどう作るかであり、都会の人は農家の方と結びつきたい、繋がりをもちたがっていると移住者の視点が見え、有意義な意見交換となりました。戸頃さんは酒米も栽培し、南会津町の酒造会社と日本酒を作り、海外へ輸出されており、本村の酒「瑠璃光」のPR方法も意見交換できました。



戸頃さんと意見交換する様子

村政を問う

一般質問

9月定例会

小沢 甲市
議員

公共施設等の現状について

問 各公共施設は年々老朽化している現状で、今後建替え施設があると思うが、計画立案を行っているのか伺う。

答 公民館や保健センター等老朽化が目立つ施設があるため、「公共施設の在り方検討委員会」を設置しました。建て替えや大規模修繕を必要と判断した場合には、令和9年度までの過疎対策事業債を有効活用し、優先順位をつけ、事業を実施してまいります。また、施設の長寿命化を図り、財政負担の平準化を行ってまいります。

なお、公民館は昭和49年に建設され、平成24年に耐震化の大規模改修工事が行われ現在に至っておりますが、アスベストの使用やエレベーターがなく高齢者が不便を感じ、バリアフリー化がなされていないため、過疎対策事業債を使い新築したいと考えています。

問 公民館は緊急避難所に指定されており、早急な建設が必要と思えます。建設の際は他の施設の統合は考えているのか伺う。

答 建設は他の老朽化した施設の統廃合を合わせながら、様々な活用をするために計画したいと思えます。



昭和48年建設の公民館



昭和56年建設の高齢者コミュニティセンター

(株)会津湯川ファームについて

問 (株)会津湯川ファームの運営計画が最終年度となるが計画の進捗状況はどのような状況か伺う。

答 現在の状況は、利用権設定面積の計画45haに対し、18ha、基幹作業の受託は10haに対し12.2ha、補助作業の受託は30haに対し、25haの実施見込みであります。令和5年9年の次期事業運営計画は現在策定中ではありますが、必要最低限の設備投資を行い、基幹作業以外の育苗販売や除草作業等を行い、健全な経営を図りたいと思えます。

問 農業振興基金の(株)会津湯川ファームへの活用の考えを伺う。

答 湯川村の農地のセーフティネットとして十分活用したい。

問 現在、農業を取り巻く状況は厳しく、肥料、資材は高騰し、高齢

化している農家は機械を購入してまで、経営する意欲がなくなっています。このような状況から(株)会津湯川ファームの経営を安定させるべきと思うが、村はどう考えているのか伺う。

答 村の基幹産業である農業を守るためどうすべきか考えなくてはなりません。今後、(株)会津湯川ファームに限らず、担い手農家も支援しながら、しっかりと計画を立て参りたいと思えます。



稲刈り風景



上記QRから動画でご覧になれます。

村政を問う

一般質問

9月定例会



廣川 文夫
議員

(株)会津湯川ファーム
の現状について

問

法人設立の理念である、農地の最終受け皿の(株)会津湯川ファームが農作業を他の農業者に作業委託したことについて、村ではどう考えているのか伺う。

答

作業依頼を行ったことについては承知しています。カントリレーベーターへの搬入期限や期限を超えてしまったほ場に係る内容であり、明確な理由があったものと認識しております。

学校の教育環境について

問

箕川・勝常小学校の今後の在り方について現在どのような検討がなされているか伺う。

答

教育委員会内で「小学校のあり方について意見を聞く会」を設

置し、児童数の推移や今後の見込数、教育施設の現状や維持管理費、小中一貫教育など教育制度の理解、情報提供を行いながら、委員の皆さんから意見をお聞きし、小学校の方向性を模索したいと考えております。

問

湯川村の地域学校協働本部の設置の進捗状況について伺う。

答

【教育長答弁】
地域学校協働活動の役割を担う「おらが村の応援隊」による活動を実施しているところです。現在、社会教育主任が応援隊と学校の繋ぎ役となり、活動しておりますが、更に強化した活動をするため、本部設置に向け要綱等の整備を行っております。

道の活性化について

問

道の駅あいづ湯川・会津坂下を核として、村に人を呼び込む様々な事業を検討しているが、具体

的にどのようなことが実施されているか伺う。

答

道の駅あいづは平成26年10月に開業以来毎年年間100万人以上の方々に来場いただいております。村の大きな事業は「新米祭り」を実施し、湯川米のPRと誘客に繋げており、現在は会津若松建設事務所、関係市町村で「大川喜多方サイクリングロード」を活用検討委員会を開催し、認知度向上と利用者拡大を推進しております。村では、会津坂下町との協議会事業として、ファミリー層を対



サイクリングロード

問

(株)モンベルと6月に包括連携協定を締結したが、その後の経過について伺う。

答

現在、役場内でプロジェクトチームを立ち上げ作業部会においてアイデアを出し合っているところであります。また、ふるさと納税についてもモンベルのホームページを活用して募集を開始しているところであります。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う

一般質問

9月定例会

伊藤 幸喜
議員

国土利用計画と自主財源について

問 平成28年度に国土利用計画が示されたが、7年が経過した村の国土利用計画の進捗状況について伺う。

答 計画は平成28年度から令和7年度の10年計画であります。現在7年目となり、住宅地につきましては、若者定住住宅の整備や民間事業者による宅地造成が進み、概ね目標とおり進んでいると思っております。工業用地につきましては、企業の進出はなく、目標に達しておりません。

問 道の駅から亀ヶ代度より商業地開発が可能になったが今後の商業の誘致推進の考えはあるのか伺う。

答 課題はありますが、への企業誘致や土地利用を考えてまいります。

問 本村議会としても県に要望しているところですが、浜崎地区のバイパス計画の進捗状況と、バイパス実現に向け関係機関へ村長自ら訪問や働きかけを行っているか伺う。

答 関係機関へお願いしております。

問 令和4年4月1日現在、本村人口が3千5人、人口減が加速している中で今後の自主財源確保について伺う。

答 本村の自主財源の昇傾向にあります。また、普通交付税の算定や税収の確保に影響を及ぼす人口は、若者定住住宅の整備、民間企業の宅地造成が行われておりますが、自主財源を確保できるような施策を講じてまいります。

問 穂花団地の若者定政面でどのようなメリットがあったのか伺う。

答 湯川村の子育ての増加があり、民間の宅地開発も行われました。

問 自主財源が年々減る中、依存財源に頼る構成となつていますが、財政力を強くするにどのような政策を考えているのか伺う。

答 商工業企業の誘致を高めることが大事と思っております。

公共施設の在り方について

問 公共施設の維持管理及び使用状況について伺う。

答 公共施設の多くは老朽化による維持管理の増大、改修など課題を抱えている状況であります。令和9年度までの過疎対策事業債の活用で、計画的に適切な維持管理と改善を行いたいと思っております。

問 不審者対策として、教育施設等に防犯カメラ等の設置が必要ではないのか伺う。

答 今のところ設置の考えは無い。

問 老朽化した施設の維持管理には相当の負担となり、過疎債が使え間、財政計画見直しが必要だと思いますが、どう考えているか伺う。

答 公共施設の個別施設を設計図面を作成し、方針を示しておりますが、公共

施設の整備資金についてはまだまだ足りないと思いますので積立していきたいと考えております。

問 放課後児童クラブがユースピアがわを使用しているが間違っていた使用をしているのではないか伺う。

答 現在各学校は空き教室もなく、ユースピアがわを使用せざるを得ないと考えております。

若年層の地域定着について

問 若年層の地域定着の対策について伺う。

答 若者定住促進事業として「湯川村若者定住促進事業補助金」により、新築又は住宅を購入した場合、補助を行っております。また、移住促進活動として首都圏で開催される相談会等で村への移住の紹介や民泊施設を活用し、移住体験をしていただいております。



上記QRから
動画でご覧に
なれます。

村政を問う 一般質問

9月定例会

片桐 英子
議員



投票所1ヶ所実施での評価について

問 7月参議院議員通常選挙より投票所を1ヶ所としたが、2ヶ所の投票所と比べてデメリットはなかったか伺う。

【選挙管理委員会委員長答弁】

答 役場村民ホールに変更し、課題であったバリアフリー面が改善されました。また、投票所内を一方通行とすることで滞留しないよう工夫しました。当日は、一時的に15名程度の行列がありましたが、短時間で解消しスムーズな投票ができたと思います。なお、投票率は68・85%で前

回の参議院議員選挙とほぼ同率でありました。

新型コロナウイルス検査キットの配布とクラスター発生対策について

問 県内の感染経路不明が72%であるため、濃厚接触者や感染しているか不安に思う方、症状のある方へ村独自に検査キットを配布できないか伺う。

答 県で配布センターを設置し、濃厚接触者・症状のある方へ抗原定性検査キットを無料で配布しております。また、薬局等で無料検査を実施しますので活用していただきたいと思います。

問 保育・教育・高齢者施設等の職員へのワクチン接種を優先すること、また、検査キットを常備し、随時検査できる体制が必要と思うが見解を伺う。

答 4回目のワクチン接種が7月1日から60歳以上の方と基礎疾患を有する方、7月22日からは医療機関や高齢者施設・障害者施設等の従事者が対象

として実施しております。また、各事業所等において検査キットを常備することとは望ましいと考えております。

食糧・農業危機に対して村としての対策について

問 世界の食糧危機が現実味を帯びる中、食糧を海外に依存する日本は、価格が上昇しています。自給率向上は待ったなしなのに、米価下落、肥料・飼料・資材の高騰により自給率の低下を招く状況の中、村の対策を伺う。

答 本年度は「湯川米策事業」により一反当たり四千百円の助成を行いました。今後は令和4年産米の価格等を踏まえ追加支援策を検討していきたいと考えております。

湯川村子ども読書活動推進計画の策定について

問 昨年までの5年間の計画を総括し、それをもとに新たな計画が策定されると思うが、策定の

ための具体的な方法を伺う。

答 計画策定に向けた作業を進めなければならぬ状況であります。策定は学校や幼稚園等に聞き取り調査を実施する予定であり、「おはなしの会ゆがわ」の方々から意見や会津教育事務所による指導をいただき計画策定に取り組んで参りたいと思います。

問 市町村の努力義務である学校図書館司書の県内設置率は小学校で80%を超えています。計画の中に司書設置が記載されるか伺う。

【教育長答弁】
答 読書活動を活性化し、本離れを防ぎ、読解力を高めることは必要であり、今後の課題と考えております。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う

一般質問

9月定例会

三澤 榮三
議員

美しい村づくりは公
共施設内外の環境整
備が大切である

問

役場周辺には、公
民館・体育館・保健
センター・中学校等があり
ますが、その敷地に雑草や
樹々が生い繁り、危険な場
所もあり、景観が損なわれ
ています。これらの施設は
災害時の避難所になってい
ますが、環境整備の取り組
みについて伺う。

(1)体育館は森の中にある
ようで道路からは玄関が見
えない。

【教育長答弁】

答

施設管理の職員に
より定期的な除草作
業や手の届く範囲の枝の剪
定など管理を実施しており、
高所部分は数年ごとに業者
に委託し、環境整備に努め
ています。

問

(2)災害が発生した
場合、車で避難する
と思うが、駐車場は確保さ
れているか。

答

村内の小中学校、
役場周辺の公共施設、
道の駅あいづなど9ヶ所を
避難所に指定しています。
駐車場の確保につきまして
は各施設の駐車場があり利
用することが出来ます。ま
た、各学校には校庭や村営
駐車場を開放することで駐
車スペースが確保できると
考えております。



体育館

問

(3)川の駅河川敷の
多目的広場の活性化
と今後の活動利用につい
て、どのような取り組みを考
えているか伺う。

答

広場では大きなイ
ベントの開催が可能
であり、村では毎年「新米
祭」を開催しております。
広場は道の駅に附帯する施
設であり、来場者に快適な
利用ができるよう維持管理
に努めて参ります。



川の駅

答

令和2年7月に要
望書が提出され、同
月回答し、砂利の敷き均し
により補修工事を実施しま
した。舗装工事につきまし
ては、緊急性・安全性・交
通量を含めた事業効果を勘
案し、実施を検討してい
るところです。

問

中ノ目集落内村道の
舗装工事について
集落内村道のほと
んどは舗装されてい
るが、中ノ目集落内の一部
約80mは砂利道で不便を感
じています。舗装要望を区
長が提出しているが、現状
の取り組みについて伺う。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う 一般質問

9月定例会

篠竹 正弘
議員



村及び地域の活性化 振興について

問

県内でも開業・企業を目指す意欲ある方を対象に道の駅にお試しテナントを期間限定で貸し出し、将来的に地元で独立開業を目指す方がチャレンジできる運営店舗「チャレンジショップ」がある。本村でも必要と思うが、考えを伺う。

答

村での「チャレンジショップ」を検討する場合、村内には多くの人が利用する商店街はなく、貸し出し可能な空き店舗の確保ができないため、事業実施は難しいと考えます。

問

村の商工業の数・業種も増えています。

村内外に向けた「商工祭」を開催し、村の活性・振興のため、利便性や、企業誘致、店舗の紹介を含め、開催できればと思うが考えを伺う。

答

村では「産業文化祭」を開催し、産業の振興と生活・教育・文化の向上を図っていますが、商工業を中心とした「商工祭」のイベントは開催しておりません。

商工会の会員数は74事業者であり、年々増加しています。

村ではコロナ禍で収入が落ち込む厳しい状況であり、地域消費型商品券等により地域経済の支援行い、活性化と地域振興を図っていく考えであります。

問

村内行事について、今なおコロナ禍で村民の健康は第一だが、ウィズコロナによる村内行事の取り組みについて伺う。

答

湯川村ふるさとおこし協議会では、3年ぶりに「ゆがわ夏まつり」を開催しました。コロナ禍が継続する厳しい社会状況であります、対策ガイド

ラインを遵守し、予防対策を徹底し、各種事業を開催し、地域の活性化・振興が後退することがないよう経済活動との両立を図ってまいります。

安心・安全な村づくりについて

問

冬季間の県道熊ノ目・浜崎線で勝常から下扇田間の吹き溜まり解消の対策を伺う。

答

村では、道路管理者の会津若松建設事務所へ改善策の検討を重点箇所の一つとして要望しております。建設事務所では既存の防雪柵の欠点を検証し、対策を検討するのとこのことでした。地吹雪による吹き溜まりにつきましては、関係機関との連携を強化し、交通の安全確保を図ってまいります。



上記QRから動画で
ご覧になれます。



県道吹き溜まり箇所

村政を問う

一般質問

9月定例会

小野 澄雄
議員

コロナ禍での農業政策について

問 ①コロナ禍での本村農業の現状について伺う。

答

令和3年度米は、1俵1万円を割り込む価格となりました。令和4年度におきましては、農業経費の高騰により「湯川米生産意欲向上支援対策事業助成金」1反当り4千円を交付いたしました。外食産業もコロナ禍以前の状況まで回復に至っていない現状です。今後の米価については先行きが見いだせない状況であり、農業者の高齢化が進んでいることから担い手農家、農業法人等と連携を図りつつ適切な対応を行い、湯川村の農業を守っていききたいと考えております。

問

②本村の目指す農業と対策について伺う。

環境保全米シールでブランド化を進める！

答

1千町歩の水田を維持していくためには他と違う魅力ある米作りが必要と考えます。販売価格の向上、高い付加価値が

必要であり、食味成分や整粒歩合など一定程度の水準に加え、減農薬などSDGsへの取り組みが必要であると考え、湯川米のブランド化を進めるため、減農薬、減化学肥料に取り組み「環境保全型農業直接支払交付金事業」を実施している農業者に対し、環境にやさしい米をアピールする取り組み「シール」を配布することとしました。

過疎地域持続的発展計画について

問 ①過疎債経過措置期間中におけるハード事業の計画について伺う。

答

令和3年度をもつて、過疎指定から外れましたが令和9年度までの7年間、経過措置として支援措置が得られます。そのような中、基本的には公共施設の管理計画・個別施設計画に基づき適正に事業を実施いたしますが、今年度中に「湯川村公共施設あり方検討委員会」を設置し、統廃合、新設等の検討を行い、令和9年度までの過疎対策事業債を有効活用したいと考えております。

【教育長答弁】

答

教育施設の多くは、老朽化が進み、修理する箇所が年々増加しています。建物以外にも設備や機器の修繕や更新についても計画を策定しなければならぬと考えております。ハード事業については、令和5年度に中学校、令和6年度に幼稚園屋根塗装工事を計画しております。また、両小学校のプールや公民館やユースピアゆがわについても、総合的に検討し、早急に方向性を示したい。

【提言】

公共施設の修繕・改修には、多大な財政負担が伴います。コロナ禍等により社会情勢が大きく変化し、村民のニーズも多様化・高度化しております。これらを踏まえ、公共施設の在り方を含めて検討願う。

問

②財源確保に向けた取り組みについて伺う。

答

財政力の小さな本村においては、過疎債経過措置終了後の財政に与える影響は大きなものになると考えております。また、村税、普通交付税も少

子化による人口減少で収入の伸びは期待できない状況にあると認識しております。このような状況の中で、事業実施については、補助事業、有利な起債を活用し、また、貴重な自主財源となつて「ふるさと納税」は新たな寄付者の獲得と既存の寄付者が継続して寄付していただけるような取り組みを考えてまいります。



小学校のプール（左：笈川小 右：勝常小）



上記QRから動画でご覧いただけます。

湯川村議会の主な動き

7月26日	令和4年度議会被災地研修 27日まで
28日	財政援助団体監査
29日	財政援助団体監査
	県町村議会「理事・監事合同会議」
	「定期総会決議事項等に係る県への要望実施運動」
	第2回民生委員推薦会
8月1日	第2回自治体DXトップマネジメントセミナーZoom会議
2日	議会全員協議会
4日	老人クラブとの奉仕活動
	両沼地方町村議会議長研修 5日まで
8日	令和3年度決算審査
9日	令和3年度決算審査
12日	令和3年度決算審査
15日	二十歳のつどい
16日	会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会 24日まで
17日	令和3年度決算審査
21日	「ゆがわ夏まつり2022」オープニング
22日	例月出納検査
23日	福島県町村議会正副議長・事務局長研修会 24日まで
24日	福島県町村議会議長会定期総会議決事項に係る国への要請
31日	議会運営委員会
9月1日	令和3年度決算審査、財政・経営健全化審査意見書提出
	市町村対抗福島県軟式野球大会湯川村チーム村旗授与式
2日	議会全員協議会
8日	第554回湯川村議会定例会 15日まで
	広報広聴委員会
9日	交通安全鼓笛パレード 写真
18日	令和4年度湯川村米寿・金婚夫婦表彰式
20日	例月出納検査
30日	両沼地方村議会議員大会決議事項現地調査
10月1日	只見線全線運転再開記念式典
8日	陸上自衛隊福島駐屯地創立69周年記念式典
9日	第15回湯川村新米祭 写真
12日	福島県町村議会議長会正副会長会議及び理事・監事合同会議
17日	両沼地方村議会議員大会決議事項県要望
	広報広聴委員会
18日	令和4年度湯川村議会中央要望 19日まで
20日	ふるさと応援寄付金第一便発送出発式
	例月出納検査
24日	町村議会議員研修会



交通安全鼓笛パレード



第15回湯川村新米祭

議会中継 録画配信のご案内

湯川村議会では、年4回（6・9・12・3月）の定例会で行われた一般質問の録画中継を公開しています。

スマホやパソコンで見ることができますので、この機会にぜひご覧ください。



編集後記

秋の収穫を前に大雨や台風で収穫が心配されましたが、稲刈り時期には秋晴れも続き村内一円色とりどりのコンバインがフル活動され、いつものおいしい湯川米が収穫されたことでしょう。農家の皆様大変お疲れさまでした。おいしくいただきます。

さて、未だコロナ禍ではありますが、行動制限の無い夏を過ぎた現在、各地域で3年ぶりのイベントが再開され賑わいが戻りつつあります。基本的な感染対策を行い、色々な思いで作りが出来ればいいと思います。また只見線の全線運転再開で秋の会津での観光が加速されればと思います。

（篠竹正弘）

議会広報広聴委員会

廣伊小	三	篠
川藤沢	委	竹
文幸甲	員	正
夫喜市	三	弘